



社協だより

かけはし

発行

社会福祉法人
四日市市社会福祉協議会
四日市市諏訪町2番2号
電話 059-354-8265
ファクス 059-354-6486
E-mail
y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp
平成21年11月5日発行

第103号



こころくん

平成21年度 四日市市社会福祉大会のご案内

どなたでもご参加いただけますので、多数お誘い合わせのうえご来場ください。



講師の鎌田貴さん

- 日時** 平成21年11月10日(火)
13時30分～16時(開場12時30分)
- 場所** 四日市市文化会館 第2ホール
- 内容** 第1部 式典(福祉功労者の表彰など) 13時30分～
第2部 講演 14時40分～
演題 「がんばらない」けど「あきらめない」
～命を支えるということ～
講師 ^{かまた}鎌田 ^{みのる}貴(医師・作家)
- その他** 入場無料。手話通訳・要約筆記があります。
赤外線補聴システム・磁気誘導ループを設置します。
- 問い合わせ先** 市社協 総務課管理係
電話 354-8265 ファクス 354-6486



要約筆記奉仕員養成講座を開催します

養成講座修了後、活動のできる人を募集します。詳細は、四日市市障害者福祉センターまで。募集要項・説明会についてご案内いたします。

四日市市障害者福祉センターでは、聴覚障害、音声・言語機能障害の人を対象に要約筆記奉仕員の派遣調整のほか、養成講座を開催しています。

「要約筆記」は、聴覚等に障害のある人に話しことばを要約して文字化し、情報を伝える筆記通訳のことです。手話をコミュニケーションの手段としていない難聴・中途失聴の人にとっては、なくてはならない重要なものです。

「要約筆記」はコミュニケーションの支援で、人権の保障につながります。

派遣の用件は教育、医療、保健、就労、会議などさまざまです。

今年度は「手書き」の要約筆記奉仕員を養成します。

平成21年11月16日(月)までにお問い合わせください。

日程

平成21年12月4日,11日,18日
22年1月8日,15日,22日
2月5日,12日,19日
3月5日,12日,19日
全12回。いずれも金曜日、
10時～16時

問い合わせ先

市社協 四日市市障害者福祉センター
電話 354-8275
ファクス 354-8426
Eメール y-with@m3.cty-net.ne.jp

第103号のおもな内容

- 赤い羽根共同募金 P2、3
- 地域交流事業報告、四日市市障害者大会案内 ほか P4

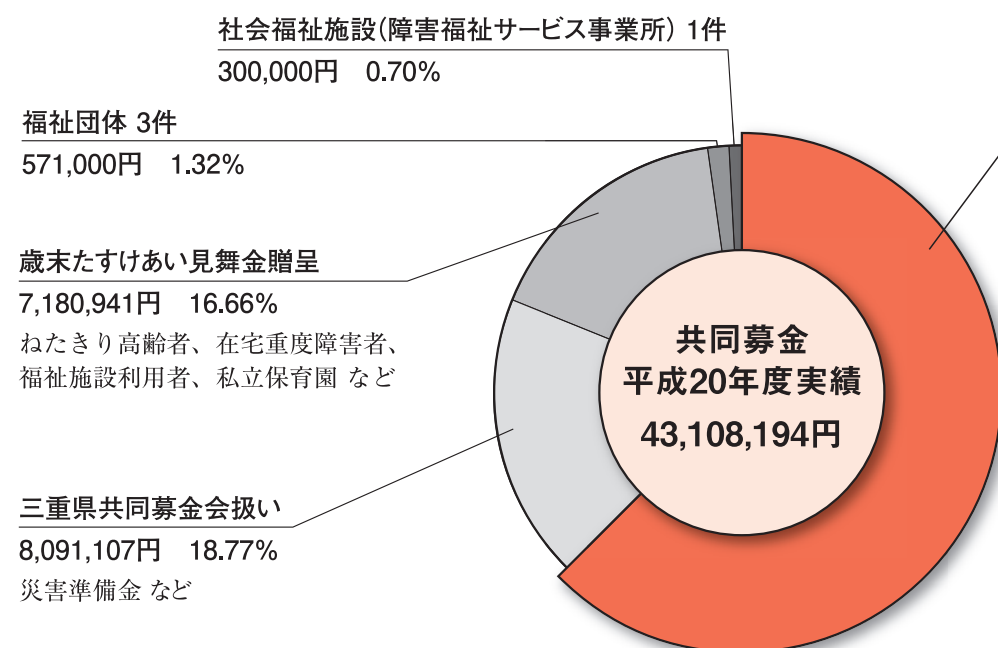
ホームページを開設しています。 <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/>



ふだんのくらしをしあわせにするために

10月1日▶12月31日

共同募金は、多様な地域課題に取り組むさまざまな住民による福祉活動を応援しています。
市社協が行う、次世代を担う子どもたちの「ボランティアの学習」や「ボランティア団体の研修や連携を深める事業」、「地域の世代間交流事業」などの福祉活動にも、みなさんの共同募金がその活動資金に使われています。



四日市市社協 26,965,146円 62.55%

- 地区社会福祉協議会
地域福祉活動費(29地区) 9,358,000円
運営費(29地区) 1,214,000円
福祉協力員活動費(16地区) 1,580,000円
モデル地区社協事業費(1地区) 300,000円
- ボランティアのまちづくり事業 2,434,000円
福祉教育推進事業・教職員福祉講座開催
全国ボランティアフェスティバル広島参加費助成
団体活動助成
- 市民啓発事業 5,537,000円
市民福祉講演会開催・広報紙「かけはし」発行
ホームページ整備
- 社会福祉団体補助金交付事業(14団体) 4,344,000円
- 法外援護事業 109,000円
地区戦没者慰霊祭助成
- 歳末たすけあい見舞金配分事業 2,089,146円

世代間でもっと交流ができれば

地域のつながりが深まります

世代間交流事業や地域福祉活動など地域の「福祉のまちづくり」を支援しています。



日永ふれあい祭

共同募金は市社協事業のほか、地域の災害対策や、障害者の施設をはじめ民間の施設・団体が行う備品の整備や行事・交流会などの財源としても活用されています。

オンリーワン(社会福祉施設)



共同募金の配分金で購入したエアコンのおかげで、じめじめした蒸し暑さも気にならず、快適な環境の中で作業を頑張っています。

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金は、
まちでみんなが幸せに
暮らすための活動に役立てられます。



いろんな団体と情報交換や連携を深めたい

みんなの力をあわせてできること

学習会や交流会を通じて、さまざまな活動を行っているボランティア団体の連携を深める支援を行っています。



災害に備えた学習会

私たちにもできることがあるかな

学習した内容は、 友だちや家族にひろがります

市内の小学生を対象に、自分たちにできることを考えてもらう機会として、ボランティア体験教室を開催しています。



夏休み子どもボランティア体験教室

たくさんの栗が 収穫できました



地域交流行事 四日市市障害者自立支援施設たんぽぽ

たんぽぽでは毎年9月に地域のボランティア団体「四郷栗の木林をつくる会」のみなさんのご招待を受け、南部丘陵公園栗の木林で「栗狩り」を楽しませていただいています。

「四郷栗の木林をつくる会」の活動は昭和57年に始まり、平成元年には栗の木が育ち、たくさんの栗が収穫できるようになったそうです。たんぽぽも15年程前からご招待をいただき、利用者の楽しみの行事として定着しています。現在では地域の幼稚園、保育園などにも呼びかけられ、毎年1000人の方々が「栗狩り」に参加をされてみえるそうです。

いがいがか
痛そう…。
そっと
ちょうだいね。



あった！また
見つけたよ!!
栗きんとんを
作るのが
楽しみだね。



今年も9月15日にご招待いただき、利用者と一緒に栗をとったり、高い場所の栗はあらかじめ落としてくださったり、いがのむき方を教えてくださったりと、とても親切にいただきました。

「四郷栗の木林をつくる会」会長 豊村正和様からは「たんぽぽのみなさんの喜ぶ顔を見たくて活動しています。今では自分の生きがいになってきています。体が丈夫な限りボランティア活動を続けていきたい」と心あたたまってお言葉をいただきました。

たんぽぽでは3年前より、収穫させていただいた栗で、地域の方々と一緒に「栗きんとん」づくりを行い、施設行事「お茶会」でのお茶菓子として、地域の方々と一緒においしくいただいています。

「四郷栗の木林をつくる会」のみなさんにいただいたつながりの輪を大切に、さらに地域へと輪を広げていきたいと思っています。

第28回 四日市市障害者大会

四日市市内にある10の障害者団体が障害種別を越えて実行委員会をつくり、障害の理解と社会参加を進めるために毎年、障害者大会を開催しています。今回は、障害のある人のために働く介助犬も舞台上に登場します。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

○日 時 平成21年12月13日(日) 10時～15時

○場 所 四日市市文化会館 第2ホール

○内 容

午前の部 障害者大会(式典・顕彰・大会決議)

講演会「介助犬ってなあに？」

講師：介助犬総合訓練センターシンシアの丘
事務局長 高柳友子

※介助犬のデモンストレーションもあります

午後の部 アトラクション(なるこダンス・ハンドベル・

日本舞踊・手話コーラス・フラダンスなど)

※作業所製品や介助犬関連グッズのバザーもあります。

※入場無料。手話通訳、要約筆記、磁気誘導ループ、赤外線補聴システムあり。

問い合わせ先 市社協 四日市市障害者福祉センター

電話 354-8275 ファクス 354-8426

四日市市社会福祉協議会正規職員の募集

職 種 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員
人 数 3名程度

第1次試験 平成21年11月28日(土)
(書類選考合格者を対象に実施)

採用予定日 平成22年4月1日

受 付 期 間 平成21年11月5日(木)～平成21年11月18日(水)の午前8時30分～午後5時15分
(ただし、土曜、日曜は除く)

詳細は、総務課まで 電 話 059-354-8265
ファクス 059-354-6486

心あたまるご寄付 ありがとうございました



四日市市社会福祉協議会事業に、みなさまからのご寄付、ご寄贈をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。(平成21年8月18日～平成21年10月18日)

- (故)東 武久 様 ●(故)川村 チヨ 様
- 小林 卓夫 様 ●竹差 秀彦 様
- 多湖 博光 様 ●谷崎 公平 様
- 長崎 昭隆 様 ●(故)原 信二 様
- 岩本歌謡教室代表 岩本英司 様
- オフィス里美 様 ●小山田老人クラブ連合会 様
- ことのはライブ実行委員会 様 ●泗水作陶会 様
- 収集ボランティア一同 様
- ファースト・G・G・C 代表 加藤 良一 様